

永代経法要

～ごあんない～

新型コロナ禍は 完全に収束していないので
次のことにご協力のうえ お参りください！

①マスクは着用

②手指の消毒を

③大声を出さない

一人の人間の死を悲しむというとき、その人の死が悲しいという心の底には、やはりその人によって贈られたものがあるということなのです。なにも贈られていないとしたら、ただ他人さまの死であって、無関心で過ごせるのでしょうか。けれども、その人の死が深い悲しみになるということは、つまり悲しみの深さというものは、実は贈られたものの深さだったということです。その人の一生から贈られているものの大きさ。それは、そのときにはいっこうに定かではありません。ただ悲しいという思いがさきにあります。しかし、その悲しみの底を通して、贈られたものを受け止める。そういうことが、残された者の非常に大きな仕事ではないかと思えます。……

『死からの問いかけ（宮城 顕著者）より抜粋』

⇒故人（先祖）からの贈りものを、受け止めてまいりたいものです。

今年も永代経法要をつとめます。
お誘い合わせて、ご参拝ください。



※換気の関係で
窓を開けます
寒暖差にご注意を！

※法話中の休憩は
取りますが、できるだけ
大声は出さないように！

5 月	25日 (土)	1時半
	26日 (日)	1時半

★講師 光隆寺・本願寺派布教使
原 遵由師 『福岡市』

☺ ☺ 5月22日(水) 10時から ☺ ☺

仏具みがき & 本堂・境内・納骨堂のそうじを行います

☎820-0001 飯塚市鯉田557-1
浄土真宗本願寺派 光隆寺

門信徒のみなさまへ